

特 244  
763



0010536-000

特 244-763

日本孤立せず

松岡洋右・述

東京日日新聞社

昭和9

ABJ







211

特 244

聯盟脫退一周年

763 南洋右述

# 日本孤立せず

大東  
阪京  
毎日  
日日  
新聞  
新聞  
社社

定  
化  
十  
金



特244  
763

松岡 洋右 述

國際聯盟脫退

日本孤

一周年

立せず



東京日日新聞社  
大阪毎日新聞社



緒言

申上げるまでもなく日本の聯盟脱退は——實はまだ形式は脱退しては居ませぬが——私の去年の二月二十四日の聯盟總會に於ける演説を最後と致しまして、議場を引揚げました時に、既に決して居つた。實質的には爾來脱退をして居るのであります。私といたしましたは、この一年を回顧いたしましたして、殊に當時の事を振り返つて見まして、感慨無量なるものがあります。この一周年を迎へるに當りまして、何等粉飾なき私の感想をまづ



諸君に申し上げて見たいと思ふのであります。それから次に私は  
滿洲問題を経めぐつて、聯盟に於て一年有半に亘つて我國が奮  
闘いたしましたその経緯から、何を我々國民は最も學ぶべきで  
あるかといふことについて、主なる點だけでもお話しして見たい  
と、かやうに考へるのであります。

## 松岡洋右

### 一、壽府よ、さらば！（告別の辭）

私が昨年わたくしの二月二十四日ふたつきにじゅうよっぴつ總會を引揚げまして、その翌二十五日に、ジュネーヴを引揚げ、パリ  
に向ふ途中から、ジュネーヴに對する告別の辭を、公にしたのであります。この一周年に際しま  
して、私にとつて第一に頭に浮んで参りますものは、この告別の辭であるのであります。この告  
別の辭は、普通多くの人がいたしますやうに、例へばジュネーヴの地を去る前に想を練り、豫め  
用意をしたのではありませぬ。何等用意なくして、ジュネーヴの地を引揚げパリに向ふ汽車の中  
で、一語々々自分の書記に向つて口授したのであります。故に一語々々之れ當時の私の思ふとこ  
ろ、感ずるところをそのまま現したものであります。

さうして私は極めて非外交的の男でありまして、何も粉飾しない、それが外交上どんな影響  
があらうが、歐米人が何と思はうが、將たまた日本人が何と思はうが、一向構はぬ。自分のたゞ  
思ふまゝを、感ずるまゝを赤裸々にいひ現す癖のある男でありまして、この場合に私は——殊に



私の一生におきまして、實に何ともいひ現すことの出来ない感を抱いたのであります。たゞ私の話が甚だ拙くて、十分にその時の私の感想をいひ現しては居りませぬが、兎も角、私としましては、最善を盡して、自分の感じのまゝをいひ現さうとした、これが告別の辭であるのであります。その後米國を通ります時に、ルーズヴェルト大統領に私が舊知として會ひました際、一切聯盟の事及び滿洲問題には觸れなかつたのであります。私が當時作らせた主なる演説の冊子を渡しまして、その冊子の最後の頁に載せてあるこの私のジュネーヴ告別の辭、これだけをあなたはお読み下さいといふ挨拶をして、その冊子を渡したのであります。その時私は大統領に申した、これが私の粉飾なき、偽りのない感想でありますから、よく読んで下さい、これも寧ろ米國大統領として、私の個人的舊知として述べたのであります。この全部の譯文を讀む必要もありませんが、初めの三分の二を、余り良い譯文でありませぬけれども、私が今この講演會場に来る前に、自分が鉛筆を走らせて俄かに譯しました、これを讀上げたいと思ひますからお聴きを願ひます。

今ジュネーヴの地を去らんとするに當り、感慨無量なるものがある。私は私の感想を表現す

るに適當なる言葉を知らない。私は日本の主張を説明し、歐洲人をして我等のもつてゐる困難と我等の地位とを諒解せしむるために、如何なる努力をも惜しまぬ決意を以て東京を立つた。私は聯盟と日本との衝突を防ぎ、日本をして、聯盟に留まり、世界平和のためになほ引續き日本の協力を可能ならしめんと決心して居た。而してジュネーヴに着いた私は敢て幾分の希望を抱いた。三ヶ月後、私はこの希望を粉碎された。悲しむと諦めとの混淆せる感情の裡にこのジュネーヴの地を去るのである。私は日本のために悲しむのではない。かゝる早急輕卒なる行動に出でたる聯盟のために悲しむのである。日本よりは寧ろ聯盟の方が、それがために傷くことを、時が立證するであらう。實は私の最も悲しむのは支那のためである。如何となれば、聯盟のかゝる行動は實に何等問題を解決せざるのみならず、支那の現狀に對して更に混亂分子を投ずるものであるからである。而も現在のまゝにしても、支那の事態は既に相當惡化して居るのであるが、聯盟の行動は、混沌に對する日本の困難なる戦ひの道程に、更に一つの障碍を横へるまでのことである。この聯盟への自殺から生れるであらうと考へられる、たゞ一つの豫告は、たゞ／＼以て日本國民をして、日本の任務の重大さと、困難とについて、一層認識を深くし、



その目的達成のため總てを犠牲にするも、敢て辭せないといふ決意を固めしめ、日本國民の一  
致結束を更に強めしむる因となるであらうといふことである。東亞全局のその目的とするもの  
は、平和と秩序の回復維持である。若し聯盟の行動にして、單にこれだけの結束を招來したと  
しても、日本は結局聯盟に感謝すべき理由さへ發見するに至るであらう。とまれこの聯盟の行  
動に依り、延いては東西を距てる溝渠を更に深からしめぬやうにと希望する。併し吾人のため  
に、將來が何を齎すかは、神のみぞ知ることである。申すまでもなく、私の魂の中には、聊か  
の反感も危惧もない。私は悲しみを抱いて居る。それは事實であるが、併し私は失望しては居  
ない。いつかは日本は必ず諒解せらるゝであらうと私はなほ希望して居る。私は聯盟加盟國等  
の悟る時が来るやうにと祈り且つ聯盟の將來に幸あれと熱心に希ひつゝ、ジュネーヴを去らん  
としたのである。

その次には、

私はシヤムの棄權と聯盟加盟國代表者等が、一年有半に亘つて兎も角滿洲事變といふものにつ  
いて、色々と討議を重ねた勞苦に對して感謝し、またジュネーヴ市及びジュネーヴ市民が我

が代表部員に對して、三ヶ月の間示してくれた好意を感謝する。  
といふことを附加したのであります。

## 二、聯盟の無力忽ち暴露

今晚この告別の辭を讀んで、記憶を新たにし、そしてこの一年間結局どうなつたかと考へて見  
ますといふと、甚だ私は希望しないことではあつたけれども、不幸にしてこの私の告別の辭にあ  
ることが讒をなしまして、その後僅か一ヶ月の間に、否半歳を過ぎないうちに、御承知のやうにド  
イツは聯盟から脱退しましたのみならず、ドイツは軍縮會議からも引揚げてしまつた。その後  
ドイツを何とかして引戻さうと試みて居ますが、容易にそのことは行はれない。それからイタリ  
ーは聯盟の改造を提唱したのであります。是について英國、佛國その他がまた協議を重ねたやう  
であります。一向これも抄らない。それから一ヶ月もまだ経ちませんが、この間新聞に出て居  
りましたから、諸君も御覽になつたことと思ひますが、ポリヴィア、バラグアイ二國間の問題で  
あります。チャコ問題といふものがあります。これに對してとうとう聯盟は現地に調査員まで派



遣して、色々と審議をいたしましたけれども、手に負へない。殆ど投出した形であります。殊にこのボリヴィア、パラグアイの問題であるチャコといふやうなものは、甚だ失禮な申分であるかも知れませんが、あなた方に今私がチャコと言つても、あなた方は、ボリヴィアとパラグアイが何處にあるか位のことは知つて居られるかも知れませんが、チャコとは何處にあるか、御存知ないかと思ひます。

私はある所で言つたが、チャコといふ言葉は地名といふことを指示せずしてどういふものだと聞くと、恐らくそれは西洋の奴豆腐(笑聲)の仲間ぢやないかと威張られるだらうと思ひます。實はボリヴィア、パラグアイといふ小さな國の微々たる争ひであるが、チャコといふところは大部分が森林や高地や野原で、人間も居らぬやうな所であります。私が丁度ジュネーヴに居りました時、この問題が持ち上がつて私も人に教はつて、その地點を知つて、かういふやうな小さな問題すら聯盟は無力であることを暴露して來た、否今回暴露したのではない、滿洲問題が起こる以前、滿洲問題と殆んど比較のとれない小さな國際間の問題でも、とかく聯盟の手には負へなかつたのである。一體私からいはずと聯盟が瘦せても枯れても世界三大國の一であるところの日本の

生命線であると言はれてをる大問題を、取り上げたといふところに非常な間違ひがあつた。けれども、それは聯盟を答める前に、それを聯盟の議に付せられた日本政府が間違ひをなさつた……(拍手)かういふやうな問題は聯盟などにかけても初めから片のつかぬことであることは明白であつたのである。これは私は寧ろ聯盟といふものゝ存在からこれを見れば誠に氣の毒に考へる。この滿洲問題に聯盟が引つかからなかつたならば、その後或ひはドイツの脱退といふやうなことも起らなかつたかも知れぬ、またチャコ問題などは容易に解決が出來たかも知れぬと思つて居る。ともかく聯盟といふものが手を擴げて餘り利害關係のない國達が、従つてまた知識も何もない人達が、而も世界の強國である日本などの生命問題としてゐるやうな問題に手を出されるといふことが初めから間違つて居つた。

こゝに私は私の立場を先づ明かにしておきます——聯盟などといふものを、要らぬものだとは思つて居らぬ。これは確かに一つの世界の平和保持機關である。これが世界中の平和を保持するといふことは到底不可能でありませうけれども、然しともかく世界の平和を確保しようとするための、確かに一つの機關である。そして今日はともかく世界的のかなり有力な機關であると私は



思つて居る。何も我々が満洲問題で、たたく意見に異にしたからと言つて、聯盟を眼の敵にする必要は一つもない。私どもは聯盟が若しも我國の立場を理解し、また満洲問題をも正解して呉れたならば何も聯盟を脱する必要はなかつた。日本は最初から出ようと思つたのではない。現に私は日本の代表としてジュネーブにおきまして最後まで我國の立場を明かにして、さうして聯盟諸國を離して日本の見地と所見を一にさせて丸く納め聯盟に残らうと考へたのであります。然し一つは私の精力の故もありましたらうが、色々な外交上の経緯からして、遂に所見を異にして已むなく引揚げたのである。私はよく申すこととありますが、今いつたやうに聯盟を何も眼の敵にする必要はないが、同時にまた聯盟を去つたからといつて、我が帝國が孤立に陥つたといふことでは斷じてない、また孤立に陥つてはならぬ。

光榮ある、光輝ある孤立、とか何とかいふ書き出しをよく見受けまされども、孤立はあまり結構なものではない、瘦せ我慢でいふことである。何も好んで孤立を威張る必要はないと私は思ふ。外交といふものが我國にある以上、また無かるべからざる以上は、外交とは與國を一國でも多く作ることである。外交とは與國を一國でも減らして孤立に陥るといふことでないが、事實は

どうであるかと申しますと、一年を経た今日顧みて、我國は國民の或る部分がいふが如く孤立に果して陥つて居るかといふと斷じて陥つては居りません。それなら君が歸つたら早くいつてくれたらよかつたと仰しやるかも知れぬが、私は餘り國民を安心させることは慎むべきだと思つた。一體聯盟といふものを退いたから翌日から我が日本が孤立に陥つた、また相當えらい方までが、その後新聞で拜見すると、何か聯盟を脱退した、めに我國の國際關係が悪化したなどといふやうなことを仰しやるが、これは遺憾ながら私は同感の意を表することは出来ないものである。そこで今晩この一周年に際しまして、私の見るところをぶちまけて御披露いたします。(拍手)

### 三、日本斷じて孤立せず

四十二對一——といふことは大變なことであります。それは大變なことではないとは申しませんが、然し四十二對一といふことは全部に對して一といふことではない、御承知のやうに十一ヶ國であるか、棄權をいたしました、これは十三對一といふこととは違つて居る。形だけでも大變な差であります、實に奇態なことには聯盟でみんなが寄つて議論をすると一種の聯盟空氣の中で



議論をする。そこで例へば日本の満洲に關する行動及び主張は飽くまで反對であるといふやうに突つ張つて居る人が多い。ところが聯盟を去つて、さういふことを言つてござつた代表者達が本國に歸つてその同じ人間と膝を突き合はして話すと今度は調子が違ふ、あれはどうも日本もあの時は無理はなかつたといふ話が出る、これが人間といふものであります。その點は日本人も少し悟つて見なければならぬ。同じ人間でもジュネーヴに来て聯盟の中で議論する時と、その人が本國に歸つて、本國の外務大臣となつて私達と膝を突き合はせて話す時とはその調子が違ふ。あれはジュネーヴに行くといふと聯盟病といふものにかゝる。これは獨り歐米人だけではない、日本人でも聯盟の中に備はれて居る人などは、私は一體あれは日本人であるかなとさへ思ふ位、聯盟病にかゝつて居る人がある。これは不思議ではなく、また攻撃すべきことでもない、人間といふものはさういふものである、それであるからまた國際聯盟のやうなものが立つて行くのである。

(笑聲)

この一年間を達觀して見ますと、私は必ずしも日本は孤立に陥つては居らぬとかう思ふ。もう少しその點について言葉を添へますと、前に述べました通り、私が昨年二月廿五日ジュネーヴ

を引揚げて先づその晩バりに到着しました。すると、翌朝からは佛國の相當に有名な人が自ら進んで私に會見を求めて来る。そこで私は色んな人と會ひました。佛國民は擧げて日本に同情し、日本の立場を支持して居るのであると彼等が力説して居る。また確かに佛國の空氣はさういふ空氣である。それからドイツに参りました。ドイツは滿洲事變勃發以來一年有半の大部分、少くもドイツの言論界の調子を見て居りますと日本によくなくなつた。現に私がジュネーヴに赴きます途中で、ベルリンに参りました時は、確かにベルリン初め日本に對しての空氣はよくなくなつた。それが私が引揚げて今度ドイツに乗り込むといふと、態度が大部變つて來て居た、日本に對して大變よくなつて來た。どういふやうによくなつたかといふ詳細なことはお話しする暇がありませんが、ともかく大變に日本に對する態度が變つて來たのであります。それからオランダに参りました。オランダでは國を擧げて私を歓迎し、また日本に對して非常な好意を表明したのであります。またベルギーを通つて参りましたがベルギーは御承知のやうにイーマンス氏が聯盟で滿洲問題を取扱つた議長をつとめた人であります。その人を出したベルギーはどうかといふと、これは大變日本に對する同情ある態度である。それから英國に渡りました、英國では殊に各方面の人が多



數熱烈なる日本に對して同情を表して居る。中にはどうしても日英同盟を回復しなければいかん、極東に於てかゝる問題が生じて來たその大きな原因の一つは、少くとも日英同盟を破棄した結果である。我々は日英同盟を破棄してその後何等得る所はない、我々は損をすることが随分多い、どうしても日英同盟を回復しなければならぬといふことを主張する人がなか／＼數多い。私は當時ロンドンに参りまして僅か五日間の滞在でありましたけれども、各方面の人士に接して、なほ英國に昔の日英同盟に因縁したところの一種の同情と感情といふものがあるのだ、といふ風に感ぜさせられたやうな次第で、現にある宴會の如きは、英國人が、聯盟に於ける英國の外務大臣の態度は一體不都合であるといふ攻撃演説をなした程で、私——日本の首席代表である私が立つて「いやまあさうもいへない、あの人の立場としては、あゝいふこともせなかりやならなかつたらう、いひもしなければならなかつたらう」と、却つて私共が外務大臣の辯護演説をしたといふやうな幕さへあつたやうな始末。

それから米國はどうであるかと申しますと、これには私も驚いた。米國に着いてみると歡迎の態度を示した。尤も、打明けていふと、一つ松岡といふやつは、あの横著者は一體どんなやつか

見たいもんだといふやうな感情もあつて、出迎へをしたり、私の所へ來たりした者もありますけれども、いづれにしても米國を擧げて大變なものなんです。決して日本を一から十まで悪いといつて攻撃してゐるわけではないのみならず、漸次日本の立場を諒解して來つゝあるといふ様子が見えるのであります。

さつとこれだけ申し上げても、先程申し上げたやうに實に奇態なこと——聯盟に行くといふと一種のそこへ空氣があつてあゝいふ態度を探る、ところが各國を別々に歩くとこれとは大變に様子が違つてゐるといふやうなわけであります。そこで我々もたゞ一端を掴へた、一途に孤立したといふやうな感情は、持つべきもんぢやないと思ふ。私は今日に於ても、日本は斷じて孤立して居らんと確信して居る。世界といふものはしかく簡單なものではない。また世界各國の動きはしかく容易でもなく、一滿洲問題で直ちに日本を孤立に陥らしめるといふやうな動き方をするもんぢや決してない。

#### 四、日本人自らも認識不足



あなた方自身は満洲國の問題といへば、これは生命の問題といふやうに、目を釣りあげて、血眼になりませうが、歐洲ではもう満洲問題といふやうなものは忘れて居ります。たしか石井子爵でありましたか、この間、歐米から歸られた時、歐洲へ行つてみると、もう満洲問題は口に出す人もない、といふやうなことをいはれたやうに、少くともさういふ記事を新聞か何かで見たと思ひますが、そりやさうなんです。日本人にとつては満洲問題といへば大變な問題ですから何時まで経つても一生懸命、しかし歐米人は忙しい、自分の國があつて、みな夫々大變な時局に臨んでゐます。他人の事どころぢやない、自分の方が下手にまごつけば水に溺れんとしてゐる時に、さう何時までも、何處にあるかしつかり分らん問題、先程のチャコ問題と同じこと、さういふ問題で日本は不届だなんといつてゐられるもんぢやないのであります。そこで日本では、歐米人を指摘して認識不足だといふやうなことをいひますけれども、しかし實は自分も認識不足である。歐米人は満洲が何處にあるか知つてゐる人は非常に少い。先方に行つてみると、英國の外務大臣なんかでも滿蒙が何處にあるかはつきり知つてゐない。(笑聲)私が地圖を指して講釋をして、それでもよく頭に入るもんぢやない、況や一般民衆をやである。

私は日本に昨年の春歸り著きまして、聯盟を脱退するかしなないかといふやかましい議論のある時、日本では、ある方面の方は經濟封鎖でもやらせやしないかと恐れてゐられた方があると聞いて私の方がよつぽど驚いた。といふのは、あなた方の身に直して考へて御覽なさい。チャコ問題にしてもですが、何處にあるか分らない問題のために下手まごつけば大戦争を惹起す恐れのある經濟封鎖なんか出来るか。それ程氣の狂つた人は日本の代表者にはない。滿蒙問題でもさうです。何處にあるか分らんといいやうな問題で、例へば日本が不都合であつても、この日本を經濟封鎖するといふことはない。ボリヴィアを經濟封鎖するのは違ふ、日本には少くとも海軍がある。これを經濟封鎖するならば、日本はこれをぶち破る權利を持つてゐる。下手まごつければ恐るべき世界第二の大戦争を惹起す懸念のあるやうなことを、何處にあるか分らぬやうな問題のために、その危険を冒すやうな氣狂ひは、歐米の政治家中には一人もゐないことを私は保證する。それがかやうな點に於ては獨り歐米人が認識を不足してゐるのではない、これはむしろ我國民が、歐米人がどの程度までこの問題を理解して居るか、何をするかといふことについて、日本人の認識が不足だつた。さういふ認識不足が本となつて、私が最初申上げたやうに、滿洲問題を聯盟の問



題に付することを日本が許した。これが抑々非常な間違ひ、第一歩の踏出しが間違ひであつた。これは今いつても間に合はないがついでだから申上げます。

それはどういふわけかといふと、先程申したやうにドイツは飛出した。イタリーは改組問題を提唱する。それもなか／＼出来るもんぢやない。チャコ問題さへ片付かぬ、かういふ状態になつて来て居る。さうして日本は確かに一年の間、経済封鎖も何も受けて居らぬ、また孤立に陥つたと申すことも決してない。かういふ有様の聯盟であります。で、この聯盟の將來は一體どうなるであらうかといふことを考へて見ますと、これは分りません。分らんといふ返事が一番たしかである。(笑聲)しかしたゞそれだけぢや説になりませんが、私はジュネーヴを引揚げます時に、聯盟の將來に幸あれかしと祈つた。それはどういふ意味かと申しますに、先程も申したやうに、聯盟といふものは平和機關であつて、何等か平和に、また何處かの地方の平和に貢献すればまことに結構なことであると私は考へる。そこでせめて國際聯盟はヨーロッパの事態を確保し、ヨーロッパの平和だけにでも役立つやうにと祈つたんであります。しかしもう極東の事、ヨーロッパ以外の事にはあまり手を染めぬ方がよろしい。手出したところで力はない、却つて聯盟自らを

傷つくるものである。で、現に昨年二月廿四日の採決をいたしましたあとで、私は帝國政府の訓令に従つて帝國の立場及び所信を明らかにしたのでありますが、一言にしていへば我々はあなた方と所見を異にするので遺憾ながらお別れするけれども極東の平和は御安心なさい、日本が獨りでこれに任じます、かういふ挨拶をした。この決心は現に日本國民が持つて居ると信じて居るのであります。然し同時にヨーロッパの事態を見ますと、私の一昨年来見て來ましたところでは、歐洲における不安状態は、歐洲大戦勃發直前に何倍かの不安状態であるのであります。若しも歐洲大戦といふものがなかつたならば、そしてあの惨害を、親しく歐洲人が體驗して居なかつたらば、今日ほどヨーロッパが反亂の種を持つて居り、不安の種を抱いて居る以上は、既に大戦が爆發して居つたらうと思ふのであります。けれども今に爆發しませぬのは、何ぞ知らんかの歐洲大戦の惨状を極めた、あの當時の體驗をもち、そして四年に亘つて慘憺たる光景を演じたばかりであるからなので、今や歐洲人は戦争の字を考へても慄えあがるのであります。あなた方戦争といふものを日本でやられたことがないからお感じにならないのであります。歐洲人は懲り懲りして居る。そこへ歐洲戦争が終結以來今日まで戰闘の術及び方法は異常な發達を遂げて、も



う今度ヨーロッパの天地で戦争が始つたら、この間の戦争の毒ガス位のことぢやない、何倍の悪性な毒ガスをぶつつけ、バクテリアを空から叩きつけるであらう、即ち戦術が非常に科学化され機械化されて來てゐる。そこで今回でもドイツがあれ程思ひ切つた進退をしたに拘らず、今なほ佛獨間に干戈を見ないのは、彼等が戦争といふことを考へても慄えあがるといふ感情によるものだらうと思ふ。またドイツもそこは足元を見すかしてやつたんだと私は思つてゐる。今後ヨーロッパがどうなる、戦争はやらぬであらうと思ふが、それでも爆發物はそこらに轉つてゐる。で、當時はヨーロッパといふものは、各國それ／＼私が何時も言ふ物質文明に行詰り憊んで居る。國と國との間には種々なる紛争が起つて居る。いはゞ歐洲大戰の繼續でありまして、非常に危険な状態に置かれてゐるので、何日何時、何が起らないと保證は出來ません。要するに戦争はやらぬだらうと思ふが、これから容易なことではありません。平和を維持して行くだけでも國際聯盟が任務を全うし得るならば人類のために幸福であらうと思つて居りますが、おそらく、遺憾ながら聯盟は歐洲の事態についても力がだん／＼衰へて行くのであらうと、かやうに見てゐるのであります。私の希望に反しますが、これはいたし方がない。

## 五、「日本は嘘吐き」の非難

それから恰も一年を経過しまして、今日我々お互も昨年の今頃より、もつと冷靜に考へてみる事が出來ると思ふのであります。で、我々は出來るだけ當時の感情を去つて冷かに考へて見る。それでは一體何を考へるのかと申しますれば、それは冒頭に於て申上げました通り、この一年餘の滿洲事變とぶつかつての聯盟外交戦において我々は何を學ぶべきか、さうして何を我國の將來に資すべきであるか、これを考へてみたい。これを今日、最早我々が虚心坦懐になつて考へ得るであらうと思ふのであります。そこで私は聯盟のこの経緯からまづ我々が學ぶべきであると思ふことを申上げてみたい。

それはまづ自らの形を正すといふこと、これは分り切つた話しであります。しかし實際は個人にいたしましたも、國にいたしましたも、まづ自己の姿を正しくする——姿といふのは、單に姿をいふんぢやない、心が本であります。これを正すといふことはとかく行はれない。これを心掛けない結果といたしまして、自分の姿が正しいか、正しくないかさへも考へないものであるか



らして、足の踏出し方を間違つて、折角正しい主張のために戦つて居りながらそれをはずきり把握させることが出来なくて、その結果やゝもすれば自己の進退に甚だ公明を缺くといふやうなことが出て来る。また公明を缺かないまでも、他人をして誤解を抱かしめるといふやうになるのである。これを聯盟に於ける満洲問題についてみますと、我が國民は後に至つて、歐米人は怪しからん、聯盟は怪しからん、認識不足だ、やれ小國共が出すぎると、盛んにいつて居るが、果して然るか。歐米人が假りに満洲事變について認識不足であつたとしても、その認識不足に對して何人が一番多く責任を負はなければならぬかといふことを考へてみると、それは日本人なのであります。

第一は昭和六年九月十八日の夜、たしか號外が東京に出ました。私は翌朝十九日の朝刊で始めて知つたのでありますが、満洲事變勃發の報が傳はるや東京で一體何人これに對して正確なる認識をもつておいでになつたか、當時の内閣諸公ですら正確なる認識をもつて居られた形跡はない。その後陸軍、外務の人達は背中合せ、片方が右を踏まうと思へば片方が左を踏まうといふ、それに新聞記者諸君にしてもさうです。尤もこれは職業であるから私は攻撃するわけでも何でもない

が、當時内閣の内輪割れでも何でも平氣で新聞に報道なされた。またインテリ階級でも相當わが軍部の行動を非なりとなされた方が多い。今日はいふ方はみな陸軍の行動にも賛成、對満問題の解決にも賛成だ、といふやうな顔をしてござるやうですが、なかに随分非難なされたもんです。さういふことはみんな外國に傳はる、今日日本の新聞に掲載されるやうなことが外國に傳はらぬといふことはない。であるから米國政府はこの問題に關しての方針を如何にして決定せられたかといへば、これは國務省から資料を供給してゐるので、殆ど公然の秘密として知られてゐる。謂はゞ米國の外交本みたいなものがありますが、この本にちやんと書いてある。それは一讀なされれば分かるが、日本のリベリズムを支持し軍閥を抑制しようといふことに米國政府の方針が決定したんだと書いてある。また私が自ら知り得たところでもその通りであります、自分でもつて形を正さず、政府が仲間割れなんかして見せて、さういふことを外國人に知られて、それでもつて米國その他の國がさういふ方針を決めたからといつて、これは別に不思議でも何でもない。さういふ方針を決めなかつたらその方が不思議だと思ふ。

米國を何も責める必要はない、私が米國の國務長官だつたらやはりさういふ方針を取つたに違



ひないんで——よく申しますが、歐米人は満洲が何處にあるやら碌々知らん、彼等は満洲が太平洋の真中に沈んだところで彼等は利害關係は大してないのでありますが、日本はさうはゆかぬ非常な重大問題、それ程利害關係のある日本が、政府はじめ民間の有力者が自ら認識を誤つて、そしてこれが傳へられ、彼等の腦裡にこの誤つたる認識を傳へられた以上、彼等は大した利害關係がないだけ、よく考へて見てその誤つたる認識を正すといふやうなことをするもんぢやない、またさういふ暇もない。日本人は初めは誤つた認識を有つて居りましたが、流石に自分の死活問題であります故に考へ直して、間もなく國民を擧げて一つとなつて軍部の行動を支持しましたけれども、歐米人に對して我々がそれを望むことは無理なんだ。彼等にとつては大した利害關係のない問題で一たび誤つた觀念を植付けた上で、後になつてこれを日本のために親切に考へ直してそれを是正しようといふ、さういふことを、利害關係のない問題でやるもんぢやないのであります。だからもし歐米人が認識不足だといふならば、その責めは一半どころぢやない、大半以上これは日本人が負はなければならん筈である。

また一方支那人が一生懸命になつて宣傳をしたといつても、これも當然、立場を代へて考へて

御覽なさい。これは何も責めるに當らない問題、そこで、自らを考へて、自らを正しうして、まづ我國の取つた行動が正しかつたかどうかといふことを考へて御覽にならなかりやならん。然る後に果して、日本はたゞ一筋に、歐米人が認識不足である、あいづらはわからずやだ、とかういひ得るかどうか、私はある事について、ある程度まで歐米人の方があなた方より認識が正確だと思ふ、さういふ見方も出来る。まことに遺憾なことでありますが、かゝる事は公言を欲しないことであります、しかしお互ひ勇氣をもつて事實は正視しなければならん。それは満洲事變に關聯してのこの日本の外交のやり方によつて、満洲より何倍大きなものを失くし、また傷つけたかといふことを私は申し上げたいのであります。それは何であるかといふと、國際信義——我國の國際信義といふものは、滿蒙問題を十もつて來たよりもつと大きな問題であると確信する。これなくしては我が大和民族は世界の大道を横行闊歩することは出来ないであります——然るに遺憾ながら我國は満洲事變に關聯して端なくも我が國際信義といふものは地に墜ちたのである。これはお互ひ正視しなければならぬ、これを平たくいへば我國は嘘をつく、この日本といふものは嘘つきだといふ感じは、まことに残念なことであります、私は容易に拭ふことは出来ぬ問題



だと思ふ。我國の外交は最早今日何をいふが、あいつ嘘をつきあがるぞ、とかういふ考へで歐米列國から見られるのである。而してこれは誰の罪であるか、もちろん満洲における事態の自然の發展が、餘儀なく日本をさういふ嘘をつくといはれるやうなはめに陥れたといふ點はあります。が、しかし日本政府及び國民の少くも一部が責任がないとはいへないと思ふ。現にあなた方は、昨年二月廿四日聯盟總會に於て可決されましたところの十九國委員會の決議文を御精讀なさつたかどうか知れませんが、もう一度、一年もたつた今日、感情を去つてこれを再讀なさる必要がある。あの中に日本の代表者が参加しまして討議を行つたのであります。理事會に於ても、總會に於ても度々決議が行はれた。これには日本の代表も同意をはつきりとしておいでになる。これに對して聯盟では日本がこれを遵奉しなかつたといつて、この決議文について日本を攻撃して居るのであります。

これは決議文に於て指摘されたのみでない、私がジュネーヴで戦つて居る間、度々持出された問題である。私はこれに對して簡單に答へた。日本は嘘をつかうと思つたこともない、また嘘をついた覚えもないが、たゞ満洲における事態がひとりで發展したんぢや。これを英語で私はた

つた四字で答へた。Events simply march on かう答へた。後でセシル卿とロンドンで會ひました時、卿は非常に日本の食言、違約を責められたから、私は聯盟で四字で答へて置きましたが日本の立場はあの通りです、Events simply march on 獨りであゝいふ事に發展してしまつたので、と答へた。さうするとセシル卿は怪訝な顔をして居りましたが、若し私が上手な男ならばもつと巧い言廻しをしたのかも知れませんが、私はこの通り正直な男ですから正直なことをいふ。(笑聲) 事態はひとりで發展したんぢや、これが一番本當。それは例へばセルヴィアの一青年がオーストリアの皇太子を狙撃した、この暗殺からあれだけのどえらい歐洲大戰が捲起らうと何人が豫想しませう。それと同様、我々は決して嘘をついたんぢやない、嘘をついたんぢやないが満洲の事變が恰も嘘をついたやうに獨りで發展をして行つただけの事、さうしてその發展は割方小さい發展ぢやつたと思ひます。かういつて私は話したんでありますが、これは私決して詭辯を弄したんぢやない、正直なことをいふんでありますが、これは我々大いに考へねばならぬことである。もつと嘘をつかぬやり方はなかつたのか、私は人の名を今日指摘したくありませんが、ある大國の外務大臣がかういふことを私語したといふ話を、懸念な人から聞かされた。それは、



——何もおれは日本が満洲をみんな取つたからといつて知つたことぢやない。支那全體が取りたければ取るがいゝ、何もおれが知つたことぢやない。けれども何故日本人といふものは、したいことを真直ぐずつとやらんのか。いや錦州には行きませんといふ、本當かと思つてゐると、いつか取つてしまつて居る。何故日本國民は嘘をいふんだ、取りたけりや取るだけ真直にぢやん／＼と取ればいゝぢやないか。

かういつて非常に憤慨したといふことを聞きました。

私はこの話しを聞いて、よく日本のある方面の感情を表明してゐると思ふ。歐米人が最も責めて居るのは満洲事變だけをどうかういつて居るんぢやない。そのやり方について屢々彼等から見れば食言をしたとかう思はれる。これが日本の國際信義を地に墜した。日本を嘘つきだといふこととしてしまつて、その印象は遺憾ながら歐米人には相當深く植付けられて居るのであります。これは何としても拭はなければならん。この國際信義を回復するためには私は大和民族は相當の犠牲を拂ふ價值がある、とかやうに私は考へて居る。(拍手)

## 六、國際信用失墜の責任

あなた方でも先程申しました十九國委員會の決議して居る所を虚心坦懐にお讀みになれば、反省せざるを得ないと思はれると信ずるから、もう一度是非お讀みなさいと私はお勧めする。

一體、外交官といふものは何處の國の外交官でもさうであります、よく逃げ道を作つて置くものなんです。さうして後から相當議論を捏ね廻はすくせがある。私は外交官をしてゐるうちからそれは絶對反對、何でもやるだけ真直ぐいふ、やるならやる、やらんならやらんと真直ぐいふ。十九國委員會の決議において指摘して居る所でも、日本はあゝいふ決議に同意したけれども、それは出来るだけ早くとか、または事實が許すならばといったやうな條件がついて居るので、それが出来るだけ早くといふのが大分長くかゝつたゞけであつて、たゞ事實が許さなかつたといふやうな風に逃げ穴が作つてあるのだ。さういふ議論をなさる方もありますが、しかしそれは我々は戒めなければならん。これだけはたしか、國際聯盟で昭和六年の秋頃から七年の夏頃までに幾たびも決議して居る。その決議には一日も速かに干戈を收め、兵を拾收してさうして戦ひ



を止めるやうにしてくれといふので、これに對して日本の代表者が同意します、とかういつたことはたしか。ある時は日本の代表者は聯盟で、いやもう兵は滿鐵の附屬地内に集結しつゝありま  
す、とちやんと陳述をして居る。ところが、集結どころかあべこべにどん／＼出て行つた。成る  
程匪賊が横行したといふ事實はありますが、あの時代は誰が見ても決して兵を滿鐵附屬地内に集  
結出来ないことは明白で、何故それならはつきりそれではないのか、あなた方は決議をなさる  
が、日本はまだこれからはじめるんです、と何故かうはつきりいひなかつたか。(拍手)これをは  
つきりいひなかつたところに間違ひがある。私は決して、自分の事を自慢話するんぢやない  
が、一體、熱河といふ所は殆ど日本に關係がないと歐米人から見られて居つた。北滿と南滿は日  
本に重大な關係があるから仕方がないけれども、熱河の如きは日本に何等の利害關係もないとい  
ふので、熱河に兵を進めることに對しては英國をはじめ絶對反對をした。時恰も私はジュネーヴ  
に居つたのでありますが、聯盟は熱河の兵戦を見合せるやうにといふことを頻りに勸告した。そ  
こで私はこれに對してはつきりいつてやつた。いま聯盟の忠告によつて日本の國がへこたれたと  
したら、それこそえらい戦ひが起るのであります。日本は戦争を希望してゐるのぢやない、何と

かして平和にしたいと考へて居るのだ。もしこゝで日本の軍隊が手を引くといふことになると思  
れは大變だ。日本軍がこのまゝ兵を進めて行きさへすれば戦ひはないんだ、と返事をしてやつた。  
(拍手)如何となれば、もしいま日本が、あなた方の仲介によつて腰をくだいてしまつたと見せ  
たら、それこそ支那人のことですから大兵を集中してやつてくる。日本は戦ひを好んでやるのぢ  
やないが、先方から大兵を集中して來ると仕方がないからこれに應戰する。それこそ大變な戦ひ  
になりますぞ、しかし日本の軍隊の動き方に任せて置けば、決して大戦争にはならない、これは  
私が保證して置きます。それは、戦ひをしようにも相手がない、いくら日本の兵が神速だといつ  
ても、支那の兵の逃げるのにはとても追ひつかん。(拍手、笑聲)いくら日本だつて戦ふ相手があ  
れば戦ふわけにはゆかん。現在に於ては日本軍の既定方針に従つてどん／＼兵を進めてゆくこ  
とが、これが平和を保障する唯一の道である。かういふことを私ははつきりいつて置いた。する  
と聯盟では、日本軍が萬里の長城を越えて平津の地に進むことを防ぐ、これに對して私の言質  
を取らうとした。そこで私はこれに對してかう答へた。日本政府も何か聲明を出して、平津地方  
には行かんといふことをいつてる。しかしこれは行くまいと思つてただで、これから果して行



かぬかどうか分らん、私の見る所では大概行くぢやらうと思ふ。(拍手)そりや何故かといふと、あなた方がさうやかましくいつて、支那側につつかれてそれに乗つて仲介の勞をとつて、長城を越えて日本は一步も進まぬといつて御覽なさい。支那は忽ち長城の地に大兵を集結して支那一流の駆引きをはじめ。さうすると日本の國は氣が早いからこれを睨ぐりつける。さうすると今度は支那の軍隊は逃げ出してしまふ。逃げるからどうしても追ひかける。自然平津まで出かねければならない。しかし日本の政府や陸軍が平津の地まで行きたくないといふことはたしかである。第一私は素人ではあるが多少軍の動き方は知つてる。若し日本が本當にやる氣ならあれはむしろ北平、天津を衝いた方が熱河の攻略には早道である、それをわざ／＼難しい方法で熱河に兵を進める作戦を採ることはない、これを見てもよく分る。しかし行かんかといふとどうも行きさうに思ふ。(笑聲)かういふことを私は聯盟で話をした。恰も日本が聯盟を出るか出ないか非常に重大なかね合ひの所でこの熱河の攻撃が始つたんでありますが、私が若し辭令を弄する男なら、なにうまい具合に進みますといふやうなことをいひたくなる。さうすると自分の持つて居る當面の問題を片付けることが出来る。そこは人間の弱さであり、さういふ氣が起りがちなところ、し

かし私は先程も申したやうに、嘘つきになりたくないから、むしろ多少輪をかけて北平、天津にも行くだらう、行くかも知れぬといふやうなことをいつたのであります。これは決して冗談ぢやない、嘘つきになりたくないからであります。さうすると、果然日本軍は一發も撃たずに苦もなく承德を占據し、熱河を平定し、ついで萬里の長城を越えて平津の地に肉薄したんであります。然るにこの熱河、平津の攻撃に向つてあれだけの事件に拘らず歐米の新聞では殆ど攻撃するものになかつた。(拍手)熱河といへば歐米人、殊に英國に取つては重大な利害關係を有つて居る。南北滿洲問題で日本が活動することに何倍した利害關係を英國ははじめもつて居るのでありますから、それこそ議論は沸騰しなければならぬのに拘らず、不思議にも殆ど非難がなかつた。それで先程お断りしたやうに、私は自慢話をするわけぢやない。一體歐米人を認識不足呼ばはりをなさるが、もつと議論が沸騰しなければならぬ筈のものが沸騰して居らんぢやないか。南北滿洲に於ける日本の活動、殊に錦州を取ることにつきましてはあれだけ議論が沸騰した歐米人が、今度は別に騒がんです。日本といふやつは嘘をつく、チチハルへは行かん、あそこはたゞ鐵道の修理をやるんぢやなんかといふかと思ふと間もなくチチハルを取る。それから錦州には行



きませんといふやうなことをいつて、それははつきり仰しやつたかどうか知らぬが。少くともさういつたやうな印象を歐米人に與へて置いて、さうしてこれが間もなく錦州に飛込んでしまふ。さうして聯盟ではどうかといふと、兵をなるたけ早く止めて平和にしてくれといふ決議をすれば、ハイそれは賛成だといふやうなことをいふが、一向にそれが表はれて来ない。それを歐米人が、日本は嘘をついてばかりを、不道徳なやつだといふのが、無理だとあなた方本當にさうお考へになるか。私は嘘つきでありたくないから、先程いつたやうに事態が自然と發展したんだといふより他なかつたのであります。歐米人の中には日本の事について親切に考へてくれる人はない。それからまた忙しくもある。この日本のやり方に對して歐米人が、日本人は始終嘘をつくやつちやといつたり、かういふ印象を有つことをもつて、一概に歐米人は不屈である、認識不足であるといふことを本當にあなた方いへるかどうか。この點は私共がお互に反省し、さうして我々は將來に向つて我國のこの國際信義を地に墜すやうなことなきやう、嚴に戒めねばならぬ所であると考へるのであります。

このやうに日本の聯盟における立廻りをすつと虚心平氣で考へますといふと、この國際信用を

地に墜したことに對しては相當日本の處置に責任があると私は思ふ。その根本は何處にあるのかといつたら、まづ自ら認識をはつきり得ることにあります。自分の信念、はつきりした信念を初めから有つてやりさへすればこんなことはなかつた。我々の信念に對しては必ず世界がこれを許す(拍手)と思ふ。これを私はあなた方に申上げて置きたい。

## 七、聯盟加入が抑々間違ひ

今まで申上げたことは、要するに、第一に自らの形をまづ正してさうして信念を把握するといふこと、第二は嘘つきになるやうなことはしない、これは嚴に戒むべきである。それから第三に——これは以前から私の感じて居ることでありすが、この二年以來の對滿問題に關する立廻りに對して一層、深く感ずるところのものは——國際關係に於てはまづ日本の利害をよく考究してそれについてはつきりと「さうする」或は「さうするのぢやない」といふことをはつきりと定めてかゝることである。日本の利害問題については誰だつてみな我國民は國に忠である、日本の利害は固より考へる。考へるが、その考へ方がとかくにはつきりしないのでありまして、やゝもす



れば自分の國の利害關係を十分に究めないで、何か歐米でやると直ぐにそれにまかれてしまふ。私がよくいふ屬國根性、この屬國根性は、あなた方もみんなもつてゐる。ひとり外交官がもつてゐるばかりぢやない、日本國民がみなもつてゐる。これは明治以來の模倣教育が崇つてゐるんでありませうが、わが日本の開國以來、國の環境が然らしめたものである。第一我々は歐米人を仰向いて見る、背が高いからどうしても仰向く。この仰向いて見上げるといふことだけで、屬國根性に囚はれてしまふんでありまして、これはあなたの方考へて御覽になるとお認めになれる。日本人にはよく陰で強がる人があるが、この強がる人を解剖してみると何ぞ知らんこれが屬國根性です。虚心平氣で、自分と同じ人間だと思へば何も強がる必要はないんで、それがやはり何だか自分より偉いやうに思ふからついで強がつて、やれ毛唐だなんていふやうなことをいつて見ることになるんだらうと私は思ふ。日本人は大部分この屬國根性をもつてゐる。決して外交官ばかりがもつてゐるんぢやない、寧ろ外交官は悪ずれて居つて、日本人中で西洋人に對しては一番横着者だと私は思ふ。

その例を申しますと、米國といふ國にはなか／＼學ぶべき點があると私は思ひます。もちろん

米國の中にも随分悪い所はあります、我儘なこともあります。さういふことを學べといふのぢやありませんが、私は米國の例を示してあなた方に一つ説明しようと思ふ。

ウイルソンといふ人は御承知のやうに自らバリの講和會議に乗出して、あれだけの力こぶを入れて國際聯盟を作りにかゝつた人、いはゞこれが聯盟の盟主であります。ところがそれから歸つて来て、大統領改選に臨んでこれを國民に問うたところ、ウイルソン大統領は惨敗してアメリカ第一主義といふものが勝つた。即ち米國の傳統である商賣的見地から非常にガツチリしてゐる。何でも彼でもまづ自分の國の事をしつかり考へてやるもんだから、かういふ歐洲諸國が集つて作つた國際聯盟から飛退いてしまつた、聯盟は置去りを喰つてしまつた。この時、我國としては大いに考へねばならなかつたんです。ロシアはもちろん入つて居らぬ。あの革命の最中、支那はこれは聯盟に入らうが入るまいが勘定に入らん。たゞ太平洋の彼方米國といふ大國が國際聯盟に入らない。この時に當つて我國の政治家なり、國民なりは考へねばならなかつた。何の爲めにそんな聯盟に入らねばならぬか、これはどうも考へて見ると入らん方がいゝといふ決定をしなければならぬ筈だつた。それが、ついいまの屬國根性に囚はれて簡単に考へて入つてしまつた。あの時



入つてさへるなければ、この二年間ひどく頭をぶん殴られなくつても済んだのであります。自分の國の立場を十分に考へないで、たゞ長い者にまかれて入つてしまつた。その罰が當つたと私は考へて居る。私は何も聯盟をくさすのぢやない、聯盟に入るか入るまいかといふ出發點に歸つてこれを考へることは別問題であります。

私は現に聯盟におきまして現にいま私が申上げたやうな趣旨を聯盟でも述べました。一體日本は入るべきもんぢやなかつたんだ、たゞ日本が入つたのは、平和に少しでも貢獻するならばといつて入つたゞけぢや、とかう私は述べてある。しかし今日になつて考へて見れば、米國といふものが入らない時に、日本の政治家が少しでもさういふことについて頭の働きがあるならば、考へ直して見なければならなかつたんであります。

これは聯盟問題ばかりでない、今日我々もよく考へなければならぬことであるが、何でもその通りで、何時も長いものにまかれるといつた形。日英同盟を破棄する、それから九ヶ國條約といふものが出来る、何でもへいへいと判を捺してしまふ。それ不戰條約といへば直ぐこれにも入つてしまふ、不戰條約についてはあの通りやかましい憲法上の問題すら起つたんであります。何處

の國でも一國の憲法または國體に關する重大な疑義を生じた場合に、反對論を押へてまで國際條約を批准すべきものでないであります。一番大事な自分の身體——自分の國が、國體や憲法に重大な疑義が生じた場合、何も國際條約に調印する義務はないと思ふ。米國も幾多の國際條約に調印をして居ります。ところがこれが上院にかけられて、いけないとなれば直ぐに批准を拒否してしまふ。米國程亂暴に拒否することも私はお勧めしないが、また日本人はあまり極端にこれは、いまま少し考へなければならぬ點であると思ふのであります。

一體日本は日露戦の後世界大戦を経て、さうして滿洲事變出兵に至るまで、平和についてはよく自分の國の利害といふものを輕卒に考へて來た。日本第一主義で行かない結果手足をずく／＼とく／＼られてしまふ。不戰條約でも御多分に洩れず批准をする。やれこつちの條約、やれあつちの條約にも御多分に洩れず批准をしてしまつて、自ら條約といふ鎖の鎖でく／＼つてしまふ。そして後で氣がつく。だん／＼く／＼られてしまつて、後になつて氣がつくとそこはまた大和民族には正義があるんだから、黙つて居らん。どうも政治家ばかりに何時も委して置くもんだからこんな事になつてしまつたが、しかしこれも自業自得だから仕方がない。このまゝ亡びるより他に仕方



はない、といふ程弱い民族ではありません。直ぐこれに気がつき出すと激烈たる正氣を有つてゐるもんだから、この鐵の鎖を断ち切つてしまふ。見方によるとこれが滿洲事變であります。

我々は生存權の爲めに已むなく條約違反と呼ばれるやうな事を仕出かすことになるので、大和民族に正氣ある以上、いさゝか遣りすぎることがあつても、えらい不名譽を世界から負はされる筈がない。かやうに我々が考へましても、遺憾ながら歐米人はさうは思つて呉れません。

國際聯盟に入るに際して、われ々は如何なる事があつても兵力は使用いたしませぬ、と言つて日本が入つたのだ。兵を使はないといつて入つたその日本が兵を用ひたので、私はこれについては、我々の根本的生存權からして、條約違反でないことをするぶん説きましたけれども、歐米人の方から見れば、それは明かに條約蹂躪だといふ。これは九ヶ國條約、不戰條約を基として、の彼等の議論であるが、彼等もまたわれ々に、何故日本といふ國をよく知り、たとへば九ヶ國條約にしても今少しく考へて、提案しなかつたのか。條約といふものは非常に精密に書いておいても、なほ後日になつて解釋上にいろ／＼な紛争が起るものであり、條約の解釋問題から干戈に訴へた場合も多々ある。自衛權によつて滿蒙が除外されたといつても、不戰條約の何處に滿蒙

といふ字が書いてあるか？ 唯だ自衛權のためだといふのでは解釋に苦しむと彼等はいつてゐる。

又一方支那側では、これは餘程詭辯ではあると思ひますけれども、ある支那の政治家に言はせると、どうも松岡さんの言ふやうなことを一々適用したら、滿洲は自衛權のために取つた、今度その次は北支那も自衛權のために取られやう、南支那も西蔵も、あなたの筆法でいつたら取られて了ふだらう、といふやうなことを言つた。(笑聲) これはもとより甚だしい詭辯ではあります。が、またさういふ詭辯を弄する餘地のある自衛權といふことについて、はつきりと何故その當時定めて置かなかつたのか。そのため遂に日本が條約違反をしたといふ汚名までかぶせられることになり、又現にかぶせられてゐるのぢやないか。また或る外交官は不戰條約の締結の時に日本は「滿蒙はわが國の生命線である！」と何故ハッキリ言はなかつたのか、誰に氣兼ねしてこれが書けなかつたのか、又何處の國が左様な事を書かせぬと言つたか——と私に冗談を言つた。かういふ頭の働きのある日本の外交官があるか。

他人に向つてこれを責めることは言ひたくないが、會議の初めに自衛權といふことを言出した



のは米國か英國なのである。わが國はその定義に追隨、便乘して滿洲は除外例であると言出し得なかつたのは残念である。その人が政治家だとすれば、それは餘りに軟弱な人物である。これなどは好い例でわれ／＼はわが國のもつ利害をよく考へて、そして滿蒙の如き重大な地域については、何人も後日疑問を提起し得ないだけに、ハッキリと條約に除外例を設けておかねばならぬのである。(拍手)

## 八、聯盟外交の樂屋裏

それから第四にわが國民が學ばなければならぬと思ひます點は、外交戰に當りましては、何よりもまづ相手國の動き方、行動を豫想することも必要であるが、如何なる動機により、如何なる目的をもつて、かゝる行動をするのであるか、その行動の眞意を突止めなければならぬ。これは今更私が講釋するまでもない事で、個人間の折衝におきましても固よりの事でありませぬ。併し遺憾ながら日本の國際關係におきましてはこれが大變缺けてゐる。第一情報機關が大變不備で、探らうにも探り得ない。相手方の行動の動機を悉く悪なりと解することも出来ませんけれども、

併しまた悉く善意であると思ふのも餘りに呑氣な話である。今日の國際關係の實際におきましても、列國共に皆自國本位で油斷も隙も出来ぬやうに考へてをるのであります。少くとも日本の利益のために動いてくれる國はない、これは自分でやるより外仕方がない。これを何故私を感じたかといふのは、一昨年齋藤内閣が出来まして間もなくジュネーヴの交渉をうけました。再三御辭退いたしました。遂に已なく承ることになつた。そして研究を始めました。第一に何故スチムソンによつて代表されたところの米國の行動は、あゝいふ行動をするのであるか、その眞意、その目的如何、またその動機は那邊にあるか、なほそれ以上の事もあらう、これをまづ私は知りたい。もう一つの問題は、聯盟が何故躍起になつて日本にぶつかつて來るのか、この問題の研究に取りかかりました。遺憾ながら東京においては何も掴み得られなかつた。朝においても、野においてもこの二點について私に知識を與へてくれた人も、材料もなかつた。呑氣千萬な話で、何の爲に外交があるのか又何をしてゐたのか誰にも判るやうな事が一向判つてをらぬ、まことに嘘のやうな事實であります。私は敢て外交官を攻撃するのではない。で私は知り合の新聞界の人で外交方面に詳しい人に問合せても見たり、政府の書類等についても見たが一向判らな



い。それで引受けてはみたがジュネーヴでどうやつたらよいか——私が出かける時は既に戦は大部分終つて、最後の事に出かけて行つたのであるが——ジュネーヴに着くと直ぐこの二點について調べました。然るにこの二大要點について何等の確たる意見をもつてゐるものが、國の機關としても個人としても、日本側に存在してをらなかつたことには驚いた。しかし同地にある英米その他の通信員等と問答してみたり、種々工夫して、私はその第一點をハッキリ、少くも自分ではハッキリ掴み得た。ハハー此處から此處を狙ひをつたな、すればかう引くり返して行けばよいとかういふ考へをもつて向つたのである。

現に聯盟が何故あれ程えらい勢ひでぶつかつてくるか、それは聯盟規約を破つたといふのは表面の理由であることが判つた。私も少しばかりは外交官の端くれにゐたものですが、凡そ白人國では物質的、物體的に何かえらい理由がない限り、平和をどうしたとか、聯盟規約を破つたのは怪しからぬと、日本が一筋縄で行けないのを知りながら、あれだけの力を籠めて打つてかゝるには、そこに何かなければならぬ。さう考へて歐米人その他といろ／＼な問答をやつてみると漸く解つた。

それは一千九百廿三年の臨城事件といふものがありますが、その書類がその卓上に無造作にころがつてゐて、誰の目にも見られるものだ。ハハーこれだ！このことを知つたとき私の眼が晴れて夜があけたやうな氣がした。こんな事件をまるで日本では知らずに闇を辿つてゐたのだ。私は臨城事件直後北京に参つたのでありますが——その前からも支那問題といふものは、實に厄介な問題で、歐米人殊に英國人によつて解決案が種々研究されてゐたのでありますが、この千九百二十三年の臨城事件といふものが拍車をかけて、更に彼等歐米人をして支那問題を如何にして解決するかを一層具體的に考へさせた。そして滿洲事變の起ります前にモウ既に國際聯盟の内には、支那を國際聯盟の監督下、管理下に置いて、そして憲兵制度を布いて全支那の秩序を回復し、支那の改造を計らうとする、斯ういふ案が出来てをた。それを知つてか知らんか、一向無關心で居つたのは誰だ。いやしくも極東問題、その實際は殆んど支那問題が全部或は大部分たるこの極東全局の保持をもつて、明治大帝以來帝國の大理想としてゐるといつてゐた日本の方だけが御存じない。この支那を料理する案はアース及びライヒマン君等によつて計畫を進められてゐた。ライヒマン君は先年聯盟から支那との聯絡員として派遣された人で、これには日本の



理事も與つてちやんと賛成してゐる。一體聯盟なるものは何のため支那とどんな聯絡をするのか。日本から理事も出てゐれば、支那からも代表者が出てゐる。もしそれで支那との聯絡に別に人が要るなら、日本との間にも置かねばならぬ、英國と聯盟との間にも置かねばならぬ。何故にそれならば聯盟本部に、そのために各國から代表者が出てゐるのか不可解なことになる。ライヒマンといふ先生は衛生局長といふ名稱になつてをりますが、その外に支那と聯盟との聯絡をとつてゐる。現にライヒマン君は滿洲事變が起ると、かういふ役をもつて宋子文君の秘書格となつて、毎日々々盛んに支那の電報料を使つて、日本の滿洲事變に對する態度の逆宣傳を世界に向つてやつたので、一方から見ればこの人間が國際聯盟を滿洲事變の渦中に捲き込んだ發頭人であるとは考へてゐる。

支那問題については歐米の政治家家中でも心ある人は非常に憂へて、あれだけの火事を放つておけば極東における大火事のみでなく、このまゝにしておけば遂には第二の世界戦争をすら捲起しはせぬか、と心配されて來た。そこで聯盟は、平和機關である以上、支那の事態を何とか改善せねばならぬ、このまゝ、抛つておく事は出来ぬ、と支那に重大なる利害關係を持つてゐる人達の頭

で想を練り、作りあげた物が前申しましたやうな案であります。

これに偶々わが滿洲事變なるものがぶつかつた。斯ういふ事になる。白人としては自分に具體的に重大な利害があるために、滿洲は支那の領土だとかつて來た。それを日本が兵力を振つて、この支那全土を聯盟の監督下に置いて憲兵制度を布かうといふ案の根本に一撃を加へたことになり、やられた方では頭をグワーンとやられた程に感じ、その案も覆へされて了つたのである。

現にライヒマン君がアレだけの排日外交家として動いてゐるので、私が聯盟へ参りました時もライヒマン君は、可笑なことに、私ども共同に持つてゐる聯盟の事務所で公然と盛んに排日をやつてゐる。この點についてみてもライヒマン君はわれ／＼が見てゐるからやらない、見てゐないから排日をやるといふのではなく、陰謀でなく公然とわれ／＼の前でやるのである。リットン卿一行がああ通りの報告をなしてゐるのを今日から顧みると、餘りにも馬鹿々々しくて、滑稽を通り越して少々情けなくなる。リットン卿の報告の結論には滿洲をいろ／＼な名で書いてゐるが要するに國際聯盟は、日本が日本の生命線としてゐる、十萬の同胞を殺し、あれだけの國格を費し



て二十数年開發に努めた儼然たる事實を忘れて、滿洲に一定の國際管理と憲兵制度を布いてやつてゆかう、これがリットン報告のあの部厚い報告の全部であつて、結論に達するまでの経緯を書いたものに過ぎない。支那全體に關しての聯盟の態度の片鱗を滿蒙問題に現したに過ぎない。そこでリットン卿がこの結論を、滿蒙で飽くまで行はうといふチャンとした決心をもつてヨーロッパを立つて來た。だから日本に來、支那に行き、滿蒙の現場を歩いていろ／＼調査はしたけれども、要するにこの結論に觸れた自己に便宜な所の材料を多く持ち、そして不利な材料は印刷はしてあります之餘り用ひてをらぬ。そこで今になつて氣が付いたのでありますが、考へると馬鹿馬鹿しい事で、當時日本がその半分の費用を持つて幾人かの書記官を付けて大名行列をやらせたものゝ、チャンと來ない前から、聯盟で騰立して適用するといふ前提をもつて極東に來た。それを公平なる調査をしてくれるだらうとの望をもつて下にもおかず接待した日本は、眞に滑稽至極なものである。

リットン卿の如きは、委員長たるの地位をすら超えて行動してゐるので、私はリットン卿は個人としては立派な人と思ひますけれども、虎の子のやうにしてゐるその案を實現することに急な

る餘り、明かに委員長たるの權域を超えてジュネーブでも行動された。それであの時私は、彼の主張を突つばね、口を封じて物を言はせなかつたので、まことにお氣の毒には感じましたけれども、これに感付いて來たから、とう／＼委員長の口を封じてその後は聯盟で發言させなかつた。(拍手)併しマア考へて御覽なさい、度々繰返すやうに餘りに馬鹿々々しくはございませんか。私は支那の機嫌をとつて聯盟がさうまでするといふなら、日本の外交は何のためにあるのか、わが日本の外交、極東の全局を保全するといふ、この大任の外に何の外交がある？。(拍手)それが私の主張の全部であり、少くとも大部分である。極東の天地を自分が居眠をしてゐる間に、他人に好きなやうに料理されてなほ構はない、これぢやわれ／＼の外交といふものは要らんぢやないか。それだからわれ／＼が會議に臨んだ時、何故相手があそこまで、猛烈に突か／＼つて來たか、唯だ平和をどうかしたから、聯盟の面目を傷つけたからと、そんな抽象論を決して白人等が言ひ出すものでないことを言明し得る。かくの如く考へるとわれ／＼の方にも大變な落度があつただ。これも先程言つたある意味において、又見解によつては向ふさまの方が認識が確實だ。チャンと目的があつて、日本軍の行動は、結局聯盟のこの大計畫を壊すものであるといふことをハツ



キリ認識して動いたのだ。又滿蒙に關してもこれまた向ふの方がその認識がわれ／＼よりも正確であつたといはねばならぬ。

## 九、六十餘年の我外交の清算

さて結論として自分は現在の日本について、又將來を觀て數言費したいと思ひます。今日からして、われ／＼が滿洲事變を繞つて聯盟との経緯及び結末を顧みますると、之を遠觀しての見方の一つは、今までとは變つてどういふ風にみたらよいか、と申しますれば、斯ういふことであると思ふ——わが國民が國難といふことについて目覺めて、ヤレ國難がどう、非常時がどうだとかいふ話がありますが、外交國難に關する限りは昨今起つたことではない。實は歐洲大戰の終の二年間、既に今日のわが國の外交國難が萌してをつたのである。當時私はある方面に向つて指摘したことがある。それからパリ講和會議においては明白にこれが現れて來た。考へても御覽なさい、パリの講和會議では日本は誰に殴られたか。講和會議とは、講和のための會議である。敵と味方とが交渉をやる會議だ。そこで敵であるドイツ、オーストリーが日本の頭を打つたといふ

のか、さうではない。日本はその味方から頭を打たれたといふ奇現象が現れて來たのであります。且つ華府會議においても、危くわれ／＼の今日委任統治になつてゐる、南洋諸島をも取上げにかゝつた。この裏面の事情については、最早時もありませんし、又公表せん方がよいと思ひますが、相當えらい経緯があつたのであります。華府會議で日本は山東から追出された。誰が追出しにかゝつたか。さうです、また味方が追出しにかゝつた。日本にとつて奇々怪々なる華府會議であつた。そんなことになるだらうとは私、歐洲戰爭の終の二年において屢々相當の向に談をしたのであります。この事實を私は華府會議で目撃して、私自身もう外交なるものは一體要らぬものである。斯ういふ考へをもつて日本に歸つて外交官をそれでやめた。その時から國難來を叫んで參つたので、私の國難來を叫んだのは二年や三年ではない。そして遂に來たものがワシントン會議である。この會議で山東から日本が叩き出されただけならばよいが、一舉にして滿蒙におけるわが特權を皆剝奪された、主義上少くも剝奪されたのだ。さうして當時日本の外交の衝に當つてゐる多くの人はわが山東から追出された上、滿蒙のわが特權まで剝奪されることを外交の成功なりと、思ふ人もおいでだつた。世界の平和のため、協調のためにはわが國がどれだけ頭を



殴られても、讓歩させられても結構だ。當時外交の衝に當つた者は措いて、東京のインテリの大  
部分も、日本が國際交渉において讓歩されるのは眞に良い外交である、立派な外交であるといふ  
空氣が漲つてゐた時、私たちが滿蒙問題の急なるを説けば却つて「困つたことに滿蒙病になつ  
た」と言つて笑はれたものです。

かくて日本はとうとう山東から追出された。協調を強ひられて滿蒙における主義上何の因縁も  
ないスペインやポルトガルと同等の立場に立たされた。それでもなほ國民は悟らず、この衝に當  
つた人々は世界の平和に協調した、偉い成功だと思つた者も實に澤山あつた。唯協調さへすれば  
よいと思つてゐた時、日本にとつて實に由々しき大事が起つたことにお氣がつかれなかつた。そ  
れは日英同盟の破棄である。

ワシントン會議まではとにかく外交の中樞をなす所のものは日英同盟であつた。日本を船に例  
へると「日本丸」、その日本丸の舵であつた日英同盟を英國から碎かれることに氣の付かぬ先生も  
先生であるが……それはともかくとして舵は壞はされた。それからどうなるか、滿蒙の特權は主  
義上剝奪された、また山東からも追出された、それでも日本國民は天下泰平で氣が付かぬ。國難

なんてものは何處にあるのか、そしてデフイーゾムは到る處に滿ちて、それ以來舵なしで風の吹く  
まゝにフラリ／＼流されて行く始末だ。かくてとう／＼滿洲事變が起つた時に、滿洲のわが特權  
を擁護する事をすら我外交は爲す能はずして、遂にこの舵のない「日本丸」を國際聯盟の暗礁に  
乗揚げて了つたのである。あの決裂を以て成功なりといふことはどうかと思ふ。それは運命觀と  
して……マア十年も経つたら聯盟の脱退は實に日本にとつては天佑であつたと判ると、私は信じ  
てをります。

人間に關する限り外交は決裂を以て成功とすべきでない。外交といふものは物を纏るものであ  
る。決裂は軍人に任せておけば何時でも決裂はやれる。この頃よく「危機」といふ言葉を聞きま  
すが、私どもも外交の危機といふものは戦争といふ意味ではなく外交の失敗から決裂を免れなくな  
つた時に危機を孕んで來た、とかういふのである。このジュネーヴで決裂したことは人間業の關  
する限り外交の失敗であります。膝を屈せず決裂して歸つて來た、確かに失敗でありますので  
私はその責任を感じて日本へ歸つて來た。私は明かに——全部の責任はとれませんが——只今言  
つたやうにフラリ／＼舵なしの船が風の吹くまゝに流されて、一定の外交方針を立てやうともせ



すその日暮しにやつて来た結果が、とう／＼滿洲事變を起して暗礁に乗揚げたものと申しま  
す。あなたがた！ 大概にして反省なさつてよいぢやないか、私はジュネーヴを引揚げた時に、  
これ皆天意なりと信じ、今も信じてゐる。運命觀としては、これは免るべからざる運命である、  
天意である、かやうに私は諦めをつけて歸つて來ました。

それで唯だ一つの取得は、膝を屈せずして偶々六十年の外交を清算し得たことである。かうい  
ふことを眞つ直ぐに言ひ得るのである。われ／＼の船が暗礁に乗揚げたやうに過去六十餘年の外  
交もこれで清算した。もういかな日本でも、明日からはこの國際の荒波に對して、自らその舵を  
造らなければならぬ。幸ひに日本丸は碎けなかつた。たとひ暗礁に乗揚げたにせよ引卸した。そ  
こで自ら舵だけは造つて思ふやうに航海する、即ちわが國は自主的の外交方法を立ててをると、そ  
れを實は私に期待して、私は日本へ歸つて來ました。

諸君、わが國に外交方針は立つてゐるか。歸つてすぐ聞いてみると、まだドツチへ向いて歩く  
のかわからないといふ。もう此處に至つては吞氣千萬、吞氣千萬を通り越して何と評しようか私  
は言葉を知らぬ。あのフラ／＼船を暗礁に乗り揚げて、幸ひに船は碎かれずに引卸したもののま

だ隠めきれない、まだ外交方針を立ててゐない。諸君、アレからもう一年経ちました。あなたが  
たは脱退當時、悲壯ともいふべき決心をされたと私は信ずる。その決心も一年経つてみたらモウ  
そろ／＼緩みかけてゐる。非常時がさう長く續いちや、やりきれないと……。しかし非常時は私  
が先に説明した通り十七年前から續いてゐるので、たとひ國際聯盟に残つてをらうが、わが國は  
貿易上ある點では衝突を免れないのだ。(拍手)そして六十餘年來の外交を清算したと喜んでゐ  
たが果して清算したか、新外交方針は脱退通告をして一年、今なほ決つてをりません。

## 十、日本に外交方針なし

私は責任をもつてあなた方に申上げる——「日本に今なほ外交方針なし」と。外交工作は巧い  
具合であるとか、協調主義であるとか、いふことを言はれるが、それは方針といふものではな  
い。どこの國に外交方針なしにたゞ協調で行く、外交工作を用ひて行く國が世界にありませう  
か。しつかりした方針をもつてゆかねばならぬ外務省が、一年に三千萬圓もつかつて存在してゐ  
る。その外務當局にこの外交國難論をもち込んでゆけば、彼等は常に、危機は外交工作で話を



けるといふ。それは方針といふものではない。外交に工事は當り前ではありませんか。協調々々といはれるが協調がなくて外交が出来ますか、協調のない外交があつてたまるものぢやない。それは方針にはならぬ。(拍手) 方針とは協調なり平和なりにこぎつけるには右に歩くか、左に歩くか、真ん中を歩くか、進む路をハッキリ定めることである。協調とか外交工作とか言つてもドツチも歩かずにをれば何も出来るものではない。

平和とか善隣關係とかを作らうとするにはどんな方法を選ぶか、それをつきりさせるのが方法である。敢て總理大臣や外務大臣ばかりを責めるのでありませんが今のやうな不徹底な、方針のない外交の衝に何人が當つても巧くゆけるものではない。これは獨り外交界ばかりでなく國民全部の責任である。もう少しものは徹底してかからなければならぬ。われ／＼國民もその考へを直さぬ以上この外交方針といふものは立つものでない。そして何が故に立たぬかは別にいたしまして、外交方針が現にわが國にないことだけは確かだ。さき程から述べましたやうなわけで、果して暗礁に乗り揚げ、更に引卸し得たが、この通りまだわれ／＼が懲りずに無方針で進んで行くなら、餘り遠くない將來においてわが國は今回乗り揚げた何倍かの大きな暗礁に乗り揚げます

ぞ。今度は船が碎けて了ふかわからない。われ／＼はこの二、三年に相當大きな國難に直面せざるを得ないことを、私は再び繰返す。

私は國難とか危機とかいふものは必ずしも戦争だとは言はぬ、けれどもそこに導く可能性がある。或る國との決裂といふやうなことが生じないと何人が保證し得ようか。況んやかゝる危機を眼前に控へてゐる今なほ、依然としてフマリ／＼と國際の荒海に風の吹くまゝに漂つてゐるやうで、それであなた方、枕を高くして眠ることが出来るか、これで結構だと仰しやれるか。この點も國際聯盟において暗礁に乗り揚げましたまでの過去を顧みまして、幾多の聯盟の経緯から學んだことを、再び茲に記憶を喚び起し、そしてわが國の現状及び將來に對して、どうしても一日も速かにハッキリした日本の外交方針を立て、その方針は事情の許す限り輪廓だけでもハッキリさせて、國民を擧げて之を支持して行くやうにしなければならぬ、といふことを特に最後に繰返します。この點についてわが國の將來を憂ふことがわれ／＼國民の今日急務中の急務として御考へ下さるやうに切望し、且つこれが、聯盟脱退一周年を最も有意義に記念する所以であると信じます。……御辭聴を煩はしました。(拍手) — 完 —



本社主催、去る二月廿二日大隈會館にて松岡洋右氏の「聯盟脱退一周年記念の講話會」開催、その速記

## 歴史的光景を回顧して

本社外國通信部長 楠山義太郎

眼目して聯盟脱退日を回顧するとその日の總會議場の光景はまさしくと頭の中に展開する、忘れられない印象の深い日である、その中でも事實上の脱退を敢行して退場した直後松岡代表がいつた一言などは殊に忘れ難い、私は職業柄この光景を直ちに日本に傳ふべく急ぎ至急報告をばし踵をかへして、まだ聯盟事務局の文關先で寫眞班の包圍攻撃で身動きのならぬ松岡代表のあとを追ひ「感想は如何？」と走り寄つた、「櫻の花の散るが如し」といつた松岡氏のたゞの一言がそれである。

このチャンスに各種のアンクルからふり返つてみたいことは數限らない、が、なぜ日本が脱退の餘儀なきに至つたかの経緯には考へさせられるものがある、松岡代表がジュネーヴに使用する際政府當局との打ち合せでは「承認問題を中心とする日本の滿洲政策遂行上、支障を來さざる限り聯盟内に止まる」といふ根本方針を確立してゐたと聞いてゐる、しかしこの根本方針に觸れないで話を纏め得るチャンスは會議中少くとも二回はあつた、その第一は英國外相サイモン氏の提案した「米露招請」の名において承認問題に一切觸れず實質的解決は日支直接交渉に委ねようとの案である、しかしこれは第三者の介入を許さずとわが政府の建前で一蹴されてしまつた、第二には總會議長の非承認宣言で聯盟の顔を立て他の問題を日



支の直接交渉にまかしてしまはうとの主旨を骨子とした聯盟事務局長ドラモンド卿の私案である。これは日本の最も氣にしてゐる承認問題には觸れてはくるが、それは單に總會議長の一方的宣言で總會の決議ではないから何等法理的の拘束力はなく従つて日本はこれに對して反對宣言をして應酬出来る仕組のものであつた。だから若し聯盟參加も、あとで承認したくなるやうな場合には承認御勝手といふ極めて自由なものである、だがわが外交は由來非常に深遠なのか、實よりも名を好んだかの如くこの案にも強硬なる反對をした。

この裏面にはわが國の在外使臣中から悪くいへば手前味噌に満ちた樂觀的情報が東京の外務省にはいり過ぎてゐた、文句は、そのまゝではないが、例へていへば「從來反日的だつた某國の當局も小官の言を聞いて態度を變し親日的になつた」といふやうなお手柄電報である、かういふのが相當集まるとわが外務省では聯盟をくみし易しとなし、もつと譲歩するだらうと觀測するやうになる、だからドラモンド案が聯盟の譲り得る最後のものではあつたとは氣がつかなかつたかも知れない。それに聯盟の方にも日本の態度を誤算した有力な電報があつた、それは聯盟の中心勢力、英國の外務省が東京から受けとつた「日本に脱退の意思なし」といふ當時、裏面の消息通の間で話題の中心になつた有名なる密電である。そこで英國は日本は口頭承認、口でこそ大言壯語はすれ腹の中はと内兜を見透した積りである、だからドラモンド案あたりで澤山だ、それがいやなら十五條第四項に移ると多少威嚇にも近い態度をとるやうになつた、これは正に日英兩國の情報の喰ひ違ひでお互に腹のさぐり合ひを誤つた、これが決裂の有力なる一原因となつたことは想像に難くない。

昭和九年三月七日印刷  
 昭利九年三月十日發行

定價 十 錢

國際聯盟成立一周年  
 日本獨立せず

發行編輯 兼印刷人 相 馬 基  
 東京市麹町區有樂町一丁目十一番地  
 印刷所 東京日日新聞社  
 東京市麹町區有樂町一丁目十一番地  
 發行所 東京日日新聞社  
 東京市麹町區有樂町一丁目十一番地  
 同 大阪毎日新聞社  
 大阪市北區堂島上二丁目三十六番地



◆ 目 書 行 刊 社 本 ◆

本社編	昭和九年 毎日年鑑	價 一圓六〇銭
本社編	日本都市大観	價 一圓六〇銭
大阪毎日新聞	スタイル・ブック (増訂版)	價 三圓十銭
本社編	皇太子殿下の御事ども	價 十圓二銭
本社編	日の丸と君が代 <small>その由来と意義</small>	價 二圓十二銭
松岡洋右述	政黨を日本國民に訴ふ	價 十圓二銭
久保田辰彦著	いは天誅組の義舉の研究	價 三圓二〇銭
平野岑一著	新聞の知識	價 三圓十銭
上西半三郎著	日本新聞紙の研究	價 一圓六〇銭

社 聞 新 日 毎 阪 大 ・ 社 聞 新 日 日 本 報



